

未来を拓く多元系化合物 の様々な機能性と物性

Functionality and physical properties of multi-compounds for the future

日時: 2024年3月22日(金) 13:30 ~ 17:30 (予定)

場所: 東京都市大学 世田谷キャンパス&オンライン

多元系化合物はその材料設計自由度の高さから、発光デバイス材料、熱電材料、磁性体、トポロジカル物質、太陽電池材料など広範囲の分野で注目を集めています。一方、多元系化合物が抱える複雑な(結晶)相や(結晶)欠陥の制御の困難さが、その電子機能を低下させる原因となるなどの厄介な側面も有しているため、何れの分野でも多元系化合物を幅広く応用するに至っていません。本シンポジウムでは、多元系化合物の多様性や機能性を改めて紹介し、理解を深めて戴くために、最近注目されている多元化合物材料の新たに発見された物性やその原理、さらにはその応用について議論します。本シンポジウムを通して、多元系化合物についての理解が深まり、今後、多元系化合物の特徴を生かしたデバイス開発の方向性が明確になることを期待しています。皆様のご参加と一般講演の投稿をお待ちしています。

招待講演者(敬称略,五十音順)

講演題目

- | | |
|------------------|---|
| ● 江部 日南子 (山形大) | ハロゲン化鉛ペロブスカイト量子ドットの合成と発光デバイスへの応用 |
| ● 佐藤 直大 (NIMS) | 多元系化合物の特異な熱輸送と熱電特性 |
| ● 沈 用球 (大阪公立大) | 3元タリウム化合物の光学特性と新奇光誘起変形材料としての展開 |
| ● 杉本 広紀 (株PXP) | カルコパイライト化合物を用いたフレキシブル太陽電池の開発 |
| ● 田中 久仁彦 (長岡技科大) | 光学特性観測による銅硫化物系太陽電池光吸収層材料の評価 |
| ● 宮田 全展 (北陸先端大) | 実験と第一原理電子・フォノン計算による新奇硫化物・リン化物熱電材料のマテリアルデザイン |

